

<思考力>アート思考と問題設定研修

ニューノーマルの時代に生きる「思考力3.0」

研修の目的

- 思考の枠組を外し、新たな問いを立てる力の習得
- 抽象と具体を行き来する思考力を練習する
- 不確実な時代を生きる新たな解の創造力の習得
- 多様な価値観、多様な人材が持つポテンシャルを組織成果の拡充に活かす

本研修の特徴

- リーダーシップ、マネジメント、コミュニケーション、問題解決といった普遍的な能力の開発を促進する内容
- 問答方式により参加者が徹底的に考え抜く構成

開催概要

開催方法	対面研修またはオンライン研修 ※組み合わせも可能 ※ご希望の内容によって所要時間は調整します
定員	20名程度まで ※ご要望に合わせて応相談
受講対象者	□ 貴社ご指定の方 □ 全階層のビジネスパーソン対象

自分だけの物事の見方で世界を見つめる／自分なりの解を生み出す／新たな問いを立てる

<カリキュラムの一例> 1日を想定

I. リベラルアーツとアート思考

- リベラルアーツとは何か
- 私たちはなぜリベラルアーツを学ぶ必要があるのか
- 論理思考と問題解決、アート思考と問題設定の関係性
- 合理と感情、論理と直観、経験と感性、対極にある価値の統合
- 読書の効能とは何か／「脳と心と体」循環モデルの実践

II. 自らの内側にある「Will」を言語化する

- そもそもリーダーシップとは何なのか
- リーダーシップに共通する要素
- 日本のリーダーたちが大切にしてきたもの 一知・情・意一
- 自らの内側にある価値観とリーダーシップの言語化

III. 前提を疑い、新たな問いを立てる

- 何者として／何のために／どこへ向かうのか？／どうやって実現するのか？
- 個人ワーク／グループディスカッション

IV. まとめ ～職場実践に向けて～

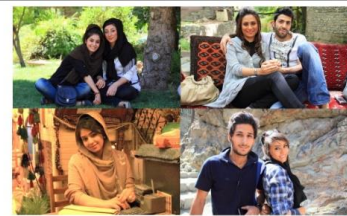
私たちはなぜリベラルアーツを学ぶ必要があるのか

『いかなる問題も、それを作りだした時と同じ意識レベルで解決することはできない。』

© MUFG

自分の常識が世界の常識ではない

ネットやSNSから聞いたことではない自分が見えない。 (研修資料より)



© MUFG

本研修は思考力の応用編であり、ベーシック編の「論理思考と問題解決研修」と組み合わせて実施することを推奨します。各階層の研修にとどまらず、貴社が抱える組織や人の課題を根本的に解決していくためのプログラムを設計します。

お問い合わせから企画提案までお気軽にお問い合わせください

お問い合わせはこちら

※上記ボタンをクリックすると、当社問い合わせフォームに遷移します。
※紙でご覧の方はQRコードをお使いください。

